

資料 1 - 4

**令和6年度長野県福祉サービス第三者評価受審事業者アンケート集計結果**

アンケート送付総件数 43件  
うち回答総件数 43件

**I 第三者評価の受審理由について**

今回、第三者評価を受審した理由・きっかけをお聞かせください。

(主な意見)						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門的・客観的な機関の評価により事業所の課題を明確にするため。</li> <li>・ 設置主体（市・町、法人本部など）の方針。</li> <li>・ 前回の受審から3年（5年）が経過したため。</li> <li>・ サービスの質の向上と職員の自己評価の把握のため。</li> <li>・ 以前より受審しなかったがコロナ過で見送っていたため。</li> </ul>						

**II 第三者評価の実施結果について**

第三者評価の実施結果についてどの程度満足されましたか。当てはまる項目を一つ選んでください。

大変満足している	満足している	どちらかといえば満足している	どちらとも言えない	どちらかといえば不満である	不満である	回答無し
5 (11.6%)	25 (58.1%)	8 (18.6%)	3 (7.0%)	1 (2.3%)	0 (0.0%)	1 (2.3%)

上記に○をつけた理由について、質問項目ごとに下の表の当てはまる番号一つに○をつけてください。また、お気づきの点やご意見等がありましたらご自由にお書きください。

1	「利用者調査」は適切に行われましたか。	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答
		36 (83.7%)	3 (7.0%)	3 (7.0%)	1 (2.3%)
	(主な意見)				
	○ 全般				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前案内や当日の利用者への対応も丁寧に接していただいた。</li> <li>・ アンケートにより実施したので意見等書きやすかったのではないかと思います。</li> <li>・ 利用者の本音を知る良い機会となった。</li> </ul>				
	○ 今後改善が必要と思われる意見、要望など				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 回答数が少なく、園のアンケート協力の呼び掛けがもっと必要だった。</li> <li>・ 匿名性は保たれているが、障害特性から内容によりある程度の個人特定ができる。</li> <li>・ 利用者の質問項目の理解度や、率直な意見を得るために聞き取り調査があっても良かった。</li> </ul>				
2	「利用者調査結果」で質の向上につながる具体的な「気づき」は得られましたか。	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答
		35 (81.4%)	7 (16.3%)	0 (0.0%)	1 (2.3%)
	○ 全般				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者聞き取り調査では、利用者の満足度や不満に感じている部分が明確になった。</li> <li>・ 保護者アンケートで防犯対策についての意見があったので、門の施錠や朝夕の保育時間帯の出入り口の見直しを行い、改善につなげた。</li> <li>・ 日頃から私共が大切にしていることについて利用者からも良い評価を頂くことができた。</li> <li>・ 職員が利用者の声に耳を傾け寄り添っているという感覚が概ね達成できているが、十分でないという結果だったので、より改善していきたい。</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段から保護者の方が保育園に話してくださっている内容だったので、思いを隠さず伝えてくださっていることが分かった。職員全員で振り返りや改善に向けての話ができたことが良かった。</li> <li>・ 利用者が職員の人員数や体調等を気遣ってくれていることが伺え、職員へのエールを頂けたように感じた。</li> </ul>				
	○ どちらとも言えない、いいえ				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マニュアルの見直し、全てにおいて明文化が必要。</li> <li>・ 障害児通所支援事業に合わないチェック項目が多い。</li> </ul>				

	「自己評価」は適切に行われましたか。	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答
		36 (83.7%)	3 (7.0%)	1 (2.3%)	3 (7.0%)
3	(主な意見)				
	<input type="radio"/> 適切に行われた <ul style="list-style-type: none"> <li>対面での調査は職員の意見を十分聞いてくださったと感じている。</li> <li>職員が自分の保育等に向かう時間をいただけた。</li> </ul> <input type="radio"/> どちらともいえない <ul style="list-style-type: none"> <li>着眼点の内容が多岐にわたっており、判断に迷う項目も多かった。</li> <li>職員一人ひとりが記載する調査項目が大変多く、業務中だけでは対応できず業務時間外の対応も必要で、保育士の負担軽減に取り組んでいる中で逆行するものとなってしまった。</li> <li>文章の言い回しが難しいものがあり、回答に迷ったものもあった。</li> <li>調査項目が多すぎる。</li> </ul>				
	「自己評価」で質の向上につながる具体的な「気づき」は得られましたか。	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答
		35 (81.4%)	7 (16.3%)	0 (0.0%)	1 (2.3%)
4	(主な意見)				
	<input type="radio"/> 全般 <ul style="list-style-type: none"> <li>行政から求められている支援内容が具体的にわかった。</li> <li>改めて様々な観点から自施設のあり様を点検・振り返りができた。地域との関係性が薄いという弱点を認識できた。</li> <li>評価結果には、a～cの結果のみでなく、職員からのコメントも詳細に記載されており、今後の事業所運営に活かしていけると感じた。</li> <li>職員間で共有され資料は配布されているが、読み込みができていないものを知ることができた。</li> <li>自己評価を行ったことで、自園の保育や保育環境を一つ一つ見直すことができた。また、理解不足の項目については職員全員で確認をした。</li> </ul>				
	「訪問調査」は適切に行われましたか。	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答
		40 (93.0%)	2 (4.7%)	0 (0.0%)	1 (2.3%)
5	(主な意見)				
	<input type="radio"/> 全般 <ul style="list-style-type: none"> <li>事前に閲覧資料など用意できたので訪問踏査当日に特に慌てることなく、業務に支障もなく対応できた。</li> <li>電話での対応、説明対応、聞き取り調査ともにとっても丁寧に、緊張を抱かせない配慮がされていた。</li> <li>訪問調査も含め、一連のスケジュールをわかりやすく、進めていただいた。</li> <li>事前に打ち合わせができるアプローチがあり、できるだけ多くの職員からの聞き取りや施設内の見学に時間を費やすことができた。</li> </ul> <input type="radio"/> どちらともいえない <ul style="list-style-type: none"> <li>管理者・責任者だけでなく一般職員の面談もあれば良かった。</li> </ul>				

	「訪問調査」で質の向上につながる具体的な「気づき」は得られましたか。	はい	どちらとも いけない	いいえ	無回答
		37 (86.0%)	5 (11.6%)	1 (2.3%)	0 (0.0%)
6	(主な意見)				
	<input type="radio"/> 全般 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自覚していなかった自園の良さなど見ていただき、励みとなった。</li> <li>・ 訪問調査を受ける前から保育環境の見直しを行うことができたので、質の向上に繋がった。</li> <li>・ 業務マニュアルや手順書は一通りそろっていると思っていたが、医療的ケアの手順書など看護師が口頭で伝えており、マニュアル化していない部分もあると気づかされた。</li> <li>・ 事業計画において意図していたことがあまり効果がないと感じていたが、組織としてご利用者処遇の検討をより深められると確信した。</li> </ul>				
	評価結果の報告は適切に行われましたか。	はい	どちらとも いけない	いいえ	無回答
		41 (95.3%)	2 (4.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
7	(主な意見)				
	<input type="radio"/> 全般 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 速やかな報告がなされ、間延びがなかった。</li> <li>・ 施設の意向を反映するのではなく評価業者の評価が全面提示いただくようお任せした。このため適切に評価いただけたと感じている。</li> <li>・ 改めて気が付くことや、普段行っている事が評価される事はとても良かった。</li> <li>・ わかりやすく冊子にして各職員がゆっくり確認できるように用意されていてよかった。事業所の強みと弱みがわかり、今後の改善点が明確になっていてわかりやすかった。</li> <li>・ 事前に内容確認のメールをいただき、細かいニュアンスの表現などにもご配慮いただいた。</li> </ul>				
	「評価結果報告書」の記載内容及びその説明から、事業所としての質の向上につながる具体的な「気づき」は得られましたか。	はい	どちらとも いけない	いいえ	無回答
		39 (90.7%)	2 (4.7%)	0 (0.0%)	2 (4.7%)
8	(主な意見)				
	<input type="radio"/> 全般 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後、重点的に取り組んでいかなければならない事を具体的に示していただいた。</li> <li>・ 地域と積極的に連携する活動が不足していた感もあり、これからの福祉業界の人材不足克服や社会貢献充実への要望ということを踏まえると、地域との連携の強化が当方の課題だと気づかされた。</li> <li>・ いろいろな勤務状況の職員がいるので、子どもたちと向き合う際に共有しておくべきこと、どの職員も子どもたちに丁寧に対応していく大事さを感じた。</li> <li>・ ピアサポーターの設置の動機付けになった。</li> <li>・ 改善点を園内、他の保育園や設置者の町、教育委員会とも共有し、施設面、ソフト面での改善をしていく共通認識により、計画して進めていく第一歩となった。</li> </ul>				
	評価開始から終了までを通して、評価機関及び評価調査者の評価は適切に行われましたか。	はい	どちらとも いけない	いいえ	無回答
		37 (86.0%)	5 (9.3%)	0 (0.0%)	1 (4.7%)
9	(主な意見)				
	<input type="radio"/> 全般 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常の介護業務については高評価を頂いたが、法人の理念や運営方針が全職員に浸透していない事に気が付くことができた。</li> <li>・ 初めて受審したことで、保育理念、基本方針、保育内容等、職員で再確認し、自分たちの保育を振り返る機会となった。担当の調査者様にアドバイスをいただき、参考になり、学ぶことが多かった。</li> <li>・ こまめに連絡をいただき毎回丁寧に対応いただいた。</li> </ul> <input type="radio"/> 今後改善が必要と思われる意見、要望など <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思ったより評価結果が報告されるまで時間を要したように感じた。</li> </ul>				

### Ⅲ 第三者評価機関について

問1 今回依頼した評価機関に決めたのはどのような理由ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

第三者評価に対する考え方	過去の評価実績	過去の評価内容	所属評価調査者の経歴や資格	所属評価調査者の数	評価機関からの提案内容	要望等への対応の良さ
7 (16.3%)	10 (23.3%)	3 (7.0%)	2 (4.7%)	3 (7.0%)	3 (7.0%)	2 (4.7%)
評価料金	知り合い・同業者からのすすめ	その他	無回答	複数回答		
9 (20.9%)	6 (14.0%)	14 (32.6%)	9 (20.9%)			

〈その他意見〉

- ・ 入札による
- ・ 法人による選定
- ・ 前回も依頼していた機関

問3 今後も継続的に第三者評価を受審するために適切と思われる契約金額（評価料金）はいくらだと思いますか。

10万円未満	10万円以上15万円未満	15万円以上20万円未満	20万円以上25万円未満	25万円以上30万円未満	30万円以上	無回答
9 (20.9%)	7 (16.3%)	7 (16.3%)	6 (14.0%)	1 (2.3%)	2 (4.7%)	11 (25.6%)

問4 評価調査員についてお伺いします。

(1) 貴事業所に訪問した評価調査者は、適切に調査を行っていましたか。当てはまる番号一つに○をつけてください。

(主任調査員)

特になし	多少課題がある	かなり課題がある	無回答
42 (97.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.3%)

(2) 評価調査者（全体）に対して、要望がありますか。

(主な意見)

- 全般
  - ・ とても丁寧で、利用者・職員共に分かり易い言葉で対応していただいた。
  - ・ 訪問調査は1日のみで、主に職責者からの聞き取りであった。訪問日を増やして頂き、日頃の利用者との関わりや、接遇などの調査して頂きたい。
  - ・ 施設側は、多くの利用者や職員の意見を吸い上げていただきたいので、スケジュールを詰め込んだが、調査員にはハードになってしまい申し訳なかった。ただ、そのぶん介護専門職として、介護の現場で働くものとしての聞き取り調査、書面をより充実していただければとは感じた。
  - ・ 事前説明から評価結果の報告まで丁寧で好印象であった。
- 今後改善が必要と思われる意見、要望など
  - ・ 担当の調査者によって評価の段取り、方法内容に差があるのは評価を受ける側としてはあまり好ましくない。

#### IV 第三者評価全体について

問1 今回の評価結果を福祉サービスの質の向上や経営の改善にどのように活用していこうと思いますか。具体的な活用内容や方法を記入してください。

(主な意見)

全般

- ・ 今回の受審で一定の評価をいただいた点については更に充実を図り、ご指摘いただいた点については、職員全体で検討し改善を図っていききたい。
- ・ 記憶や認識が高いうちに職員個々に意見・感想をまとめ、深めておきたい。
- ・ 支援者個々としても組織としても向上していけるよう、継続的に努めていききたい。
- ・ 保育園にもう少し関心を持っていただくように、年度初めに保育方針などのアピールをする。
- ・ ヒヤリハット報告など改善提案や防止策を検討し、実施につなげていききたい。
- ・ ピアサポーター研修を受講し、できれば資格を有した利用者をピアサポーターとして職員配置できるよう取り組みたい。
- ・ 地域との連携という点で、日中活動の充実を図るため地元の学校や地域住民に協力を依頼する。福祉避難所に指定されており、また水害危険区域に立地していることもあり、避難訓練を地元住民と協力して行うことを通じて、地域ニーズを把握して貢献できるようにしたい。
- ・ 評価結果については、職員会及び利用者自治会・家族会・苦情解決第三者委員を含めた運営協議会で共有して、関係者全員の共通認識のもと、改善に向けていききたい。
- ・ これまで実施の第三者評価基準を用いた自己評価も継続実施して効果測定をしていく。
- ・ 評価結果に基づいて、自施設の弱み・強みを認識することができた。利用者家族との委員会や、施設会議、職場会議で報告し、高評価を頂いた項目については更に向上を図り、十分な評価に至らなかった項目は、施設内で共有し改善を図りたい。
- ・ 職員のキャリアプラン等改善し施設として評価を高めていききたい。
- ・ 保護者に定期的にご意見をいただけるアンケートや意見箱などの仕組みづくりをしたい。
- ・ 職員がこども園の理念や目標を常に心に留められるよう掲示場所の工夫と会議の持ち方を検討していく。
- ・ 障害福祉サービスのスタンダードの理解促進と施設の強み、弱みをより明確にするために評価結果のピックアップを次回受審まで、通年、各会議棟等で関連づけていく。
- ・ 今回の評価結果で良いとして評価された点は、それに満足することなく、常に向上心をもって引き続き行っていくとともに、改善点として指摘された点については、現実を真摯に受け止め、きちんとマニュアルを整備する等全職員で改善に向けた取り組みを行うきっかけとしたい。

問2 第三者評価の受審費用と効果について、当てはまる番号一つに○をつけてください。

費用以上の効果があった	費用に見合う効果があった	費用に見合う効果はなかった	どちらともいえない	無回答
2 (4.7%)	22 (51.2%)	3 (7.0%)	5 (11.6%)	11 (25.6%)

上記に○をつけた理由をお聞かせください。

(主な意見)

費用以上の効果があった、費用に見合う効果があった

- ・ 法人の概要や実績等、過去3年ほどの内容を事前に把握し、根拠のある評価だった。コメントは納得いくものであった。費用以上の内容であると感じた。
- ・ 保育園の良いところを温かい視点で評価していただけた。施設概要の調査や保護者へのアンケート、職員の自己評価の取りまとめ等の労力を考えると費用は安価に感じた。
- ・ 細かな評価項目があり受審する側も大変な作業だが、自分たちの園の強み・弱みがよく分かり、受審費用に見合う効果はあった。
- ・ 改めて自分達のやってきたことを振り返り、見つめ直すことができ効果は高いと感じる。資料を作成し、遠方から何度も足を運び評価をしてもらい、費用対効果はあった。
- ・ 客観的な評価をいただけたことで、現在の支援の質のレベルがはっきりとした。
- ・ 見えていない部分の見える化につながり、具体的な改善策や課題の抽出に役立った。
- ・ コロナ禍は外部の方が施設内に入ることもなく、評価されることがない時期が続いてきたが、今回適切な評価をいただき、できていなかったこと等が明確になり、今後の運営につなげることができた。
- ・ ご利用者が職員以外の人に気持ちを伝えられた。受審後、職員も色々なことを意識し気づきが出てきた。
- ・ 改善事項を提示され、気づきはあったが、第三者評価を見たという声は1度も聞いたことがない。事業所の透明化を目指しているので、そこは残念に思う。

- 費用に見合う効果はなかった
  - ・ 時間も短く、伝えきれないこともあった。もっと当園のことも知って貰えた上での評価をしてほしい。
  - ・ 事業所として足りない部分についての指摘は、ほぼ把握している内容であった。
  - ・ 効果はまだこれからだと思う。
- どちらともいえない
  - ・ 効果と結びついていいたかは分からない。
  - ・ 直接的な効果の判断はまだできない状況であるため。
  - ・ 気づきを得られ、効果はある。組織の規模が大きく、部署が複数に渡り、見学・書類・確認事項が多い。
  - ・ 第三者による評価は貴重なものであるが、施設としての人的な負担が大きかったため。

問3 第三者評価の受審に際し、貴事業所の負担（人的負担、時間的負担等）は、第三者評価の効果に比べて妥当なものでしたか。当てはまる番号一つに○をつけてください。

妥当であった	妥当でなかった	どちらともいえない	無回答
26 (60.5%)	5 (11.6%)	11 (25.6%)	1 (2.3%)

上記に○をつけた理由をお聞かせください。

- (主な意見)
- 妥当であった
    - ・ 自己評価はある程度時間がかかったが、全体的にスケジュールが明確になっておりそれほどタイトなスケジュール感ではなかったため、妥当であったと思う。
    - ・ 受審に関わる事前の準備や、自己評価に費やした時間等は本来の業務の時間外に行っており、負担は大きい。しかし、受審に際して園内研修をする中で、保育に係る大切な事柄を改めて周知、徹底することができ、園としては良い機会となった。
    - ・ 保育環境の見直し、自己評価の記入など時間を要し大変ではあるが、職員で一つの事に時間をかけて取り組むことができた。
    - ・ タイムスケジュールや日程については施設側も無理した面はある。しかし、事前に打ち合わせや調整を行ったのでトラブルなくできた。
    - ・ かけた時間は多くあったが、普段あまり考えないところに着目したり、知る良いきっかけとなった。
    - ・ 評価表の記入の分担制を認めていただくことで、職員の負担軽減につながった。
    - ・ 現地調査も段取りよく行われ、それほど通常業務に支障をきたすことはなかった。
    - ・ 評価を行うこと、評価内容をまとめること全てに時間がかかった。着眼点に対する評価や、特記事項はどうやってまとめようかと大変悩んだ。正直負担は大きかった。しかし、管理者同士で話し合うことで新たな課題も見えてきたので受審して良かった。
    - ・ 評価を行うことは時間的にとても負担があった。
    - ・ 負担とは感じていない。学びの機会と初めから職員へ伝えており、やらされ感ではなく自己研鑽的な位置付けで導入し実施したのが良かった。
  - 妥当でなかった
    - ・ 職員の自己評価の項目が多いと言う声があったが、多角的に評価を頂くためには必要である。
    - ・ 職員一人ひとりの調査項目が大変多く、業務時間内で対応できずに時間外対応も必要で、保育士の業務負担の軽減を進めている中で、大きな課題と感じられた。
    - ・ 利用者へのアンケートなど、段取りと足を運ぶ事が日々の業務の中で大変だった。
  - どちらともいえない
    - ・ 事前の調査書の設問項目が多い。
    - ・ 事業者側のアンケートの量は、職員にとっては多少なりとも負担感があったように感じる。
    - ・ 職員の意識は変わったように感じるが、受審日決めの打ち合わせから自己評価提出、受審日と期間が短く職員の負担が大きかったように感じる。

問4 今後も第三者評価を受審してみたいと思いますか。当てはまる番号一つに○をつけてください。

ぜひ受審したい	受審したい	どちらともいえない	あまり受審したくない	まったく受審したくない	無回答
3 (7.0%)	24 (55.8%)	13 (30.2%)	1 (2.3%)	0 (0.0%)	2 (4.7%)

(主な意見)

受審したい

- ・ 職員も含めた、現時点の外部の評価は参考になり、事業の在り方を振り返るのには必要である。また、外部に評価していただいていることで利用者や地域に対して透明性がアピールできるとも考える。
- ・ ご利用者やご家族、地域から信頼される施設運営には、サービスの質の向上、地域に開かれた情報公開が必要。
- ・ 園の保育、保育環境、職場環境を見直す良い機会となる。
- ・ 受審したいというより受審を積み重ねて第三者の意見を聞く機会を作らなくてはと考える。ただそのためには職員にも負担なく、多様化している職員層に対応できる事項評価の問いかけであってほしい。質問が難しい。福祉事業所での専門職としての充実をどこの面で求めるかが大切ではないか。
- ・ 第三者評価の受審により、園運営、教育・保育の向上に懸けたい。
- ・ 自園は受審したので、公立保育園は、順番に行っていくとよい。
- ・ 受審して良かったと思うが、現場の負担も増すため頻繁でなくてよい。
- ・ 現状の施設運営の改善すべき点を見つけることができる。
- ・ 今回経験した職員も時が経つと意識が薄れていく。数年後に受審することは学びの機会となるので検討したい。
- ・ 定期的に外部からの評価を受けたい。

どちらともいえない

- ・ 事業所としての負担が大きい。
- ・ 学びはあるが通常の多忙な業務の中、評価表の記入は時間的に負担が多いので、どちらとも言えない。
- ・ 受審することで気付かなかったことが分かり良い点がある。ただ今回は慌ただしく短い期間での受審になってしまい、そうなると考えてしまう。
- ・ 第三者評価受審の補助制度があれば定期的に受審したいと思うが、30万円の費用は厳しい。

あまり受審したくない

- ・ 結果的には良い機会となったが、受審に費やす労力等を考えると、今後の受審は遠慮したい。

問5 今回、第三者評価に取り組んで感じたことや要望などをご自由にお書きください。

(主な意見)

全般

- ・ 第三者評価に職員が一丸となって取り組んだり、結果報告書を見て振り返ることもでき、改めて子どもたちの心が元気に育つように努力していきたいという気持ちの意識づけができて良かった。
- ・ ワムネットを見て各県ごと評価基準、チェック項目が違うと感じた。
- ・ 第三者評価を受審し、自園の保育や保育環境の見直しをすることで、職員で保育の話をする時間が増え、職員関係が円滑になり、保育の質の向上に繋がった。
- ・ 早期に解決できることばかりではないが、指摘頂いた内容には多少なりとも予測されていた面もあり、確信を持てたことでしっかり対応をしていきたい。
- ・ 職員が保育園、保育についての振り返りの機会として捉え、保育の質の向上に繋げていきたい。
- ・ 第三者評価をすることで、今まで考えなかったことも考えるきっかけとなり、保育の質の向上や経営についての再確認は課題もわかり良かった。
- ・ 初めての試みであったが、評価の結果は今後の課題としてとても参考になるものであった。
- ・ 職員一人ひとり日頃の業務に対して振り返る機会になった。
- ・ 広域連合の施設としても初めての取り組みだったので、不安が多くあった。調査開始から終了までに時間もかかり大変苦労した。しかし、利用者からの意見や要望をたくさん聞けたことや、今後施設で取り組まなければいけない課題が発見出来たことは大きな収穫になった。
- ・ 職員以外にお話しを聞いていただいたことで利用者の本音を聞くことができた。職員の権利擁護に対する理解や仕組み、行政への通報などについて理解が低かったことも気付くことができた。関連施設職員も含め周知していきたい。

○ 今後改善が必要と思われる意見、要望など

- 必ず受審することになっている方が良い。一般指導監査と第三者評価で気を緩めてしまうことが少なくなり、制度に準じたしっかりした内容を整備できる。受けなくても良いのだとしたら、受けた事業所に何らかのメリットがあっても良いのではないか。
- 全職員による自己評価は、印刷した事業評価票を用いてアナログ的に実施し、各自封緘し管理者が取りまとめて一括して評価機関に郵送した。各自の自己評価を電子化することにより、回収・分析も簡単になり、事業所及び評価機関の省力化とコストを削減することができると思う。
- 公立園のマニュアルに沿い通常から保育業務を行っているため、保育準備の負担はさほどないが、通常業務と並行しての評価表負担が大きい。今回は、職員の分担制を認めていただくことで、少しは軽減につながった。今後も臨機応変なご対応を希望する。
- 受審費用は今後なるべく控えめをお願いできればありがたい。
- 第三者評価機関、専門機関が十分な運営が適うような公的支援と受審事業者の経費助成についても、本制度の定着と発展のために一考してほしい。